



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
©東奥日報社 2021

インターネット
号外

購読の
お問い合わせは

東奥日報社販売局
0120-40-1000
【フリーダイヤル】

24時間受付

聖愛 初戦惜敗

石見智翠館に3—4

第103回
全国高校野球
選手権大会

第103回全国高校野球選手権大会第8日は21日午前、兵庫県西宮市の甲子園球場で2回戦を行った。第1試合に登場した本県代表

の弘前学院聖愛は石見智翠館(島根)に3—4で惜しくも敗れ、初戦突破はならなかった。

▽2回戦
聖愛

200000020143
002000020X

石見智翠館(島根)

(聖) 葛西—松坂

(石) 山崎琢—上

▽本塁打 宮本(石)



【聖愛—石見智翠館】1回表弘前学院聖愛2死三塁、長利が右中間に適時二塁打を放つ。捕手上=甲子園

聖愛は2—2で迎えた八回裏の守り、1死二塁で主戦葛西が相手の5番打者に2点本塁打を浴び、勝ち越しを許した。聖愛は続く九回に1死一、二塁から代打佐藤雄が適時打を放って1点差に詰め寄ったが、最終打者が併殺に打ち取られ、試合終了となった。

試合は両チーム主戦同士の投げ合いとなった。聖愛は初回、相手投手の立ち上がりをつき、長利の適時二塁打などで2点を先制。三回裏、相手の4番打者に2点適時二塁打を打たれ、同点とされた。四—七回は互いに無得点。聖愛の主戦葛西は二、四、六、七回を三者凡退に抑えるなど粘投したが、勝利をつかめなかった。

詳細は22日付朝刊で